



議会だより



議員研修会が開催されました。(7頁に関連記事)

3月定例会

21年度当初予算決まる 総額 528億 2,500万円

一般会計	297億 3,700万円	(前年度比	2.1%)
特別会計	205億 1,597万円	(前年度比	△ 9.0%)
企業会計	25億 7,203万円	(前年度比	△ 11.0%)

3月定例会の概要

平成21年第2回越前市議会定例会は、2月27日から3月19日までの21日間にわたって開かれました。この定例会では、市長提出の当初予算案15件、補正予算案9件、条例案12件、一般議案6件、人事案2件が提案され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採択の結果、いずれも可決・同意しました。

また、一般質問には15人の議員が市政全般にわたって質問を行いました。

主な内容

予算・条例審査	2～3頁
一般質問など	4～7頁
請願など	8頁
審議議案一覧	9頁
委員会審査など	10頁

平成21年
3月定例会

予算審議

※()内は質疑をした議員名

平成21年度一般会計(前年度比 2.1%増)
総額297億3,700万円でスタート
自主財源は156億2,749万円
うち市税は120億7,506万円

■ふるさと雇用再生特別基金事業
業県補助金 3960万円
(細川議員)

問 この事業は、一過性の雇用でなく、一定期間が終わってからも続けて雇用を創出できるような事業であるべきではないか。

答 これは雇用期間3年の雇用を確保する事業であり、この終了後は国と県が連携して必要な支援に努めることとなっている。

■庁舎建設基金積立事業

1億5116万円
(前田^修議員)

問 先の見えない庁舎建設に基金を積むよりも、この不況の時期、市民の暮らしの応援に回すべきではないか。

答 財政の厳しい中、あくまでも市民生活を最優先する中で、庁舎建設基金の積み立てにも精一杯の努力を続けていく。

■庁内情報システム維持管理事業
1億5433万円
(城戸議員)

問 サーバーを2カ所に分散し、データをバックアップする今回の措置で十分と考えているのか。

答 業務の停止を防止するには100%ではないが、今考えられる財政の中で、できるだけ予算化をさせていた。

■交通施設バリアフリー化推進事業
3166万円
(伊藤議員)

問 体の不自由な方のためにJR武生駅にエレベーターを設置する事業であるが、ホームの離れた所に設置するのは意味がない。設置場所についてJRとどのような交渉を行っているのか。

答 設置場所については、高齢者や障害のある人の利便が図れるようにJRへ要望していきたい。

■支所維持管理事業

850万円
(福田^住議員)

問 今立地区の住民サービスを考慮して総合支所独自の自主事業を認めるべきではないか。

答 現在、地域の現状に沿って一般土木や維持管理経費等の予算配分を行っており、総合支所としての意思が反映されていると思っっている。

■企業誘致事業

1億2645万円
(前田^修議員)

問 市内の立地企業や補助金を出してきた企業に対し、非正規労働者の雇い止めの中止や、雇用の確保について、市はどのような協議をしてきたのか。

答 市内企業に対して、雇用の継続、派遣雇用中止の場合には住宅の確保を派遣会社には住宅の確保を派遣会社には要請すること、従業員の異動がある場合の速やかな報告などを申し入れている。

■進修学園費

1億5998万円
(中西議員)

問 進修学園が社会福祉法人として独立して学園の運営を行っている今、なぜ引き続き市職員を派遣するのか。

答 平成23年度の完全民営化に向け、その準備を支援するため、段階的に派遣職員を削減していく。

■放課後児童クラブ事業

5920万円

■放課後子ども教室推進事業

743万円
(中西議員)

問 この2事業は、趣旨に若干の違いはあるものの地域の子どもへの受け皿として似通った事業である。今後、各事業をどのように連携させて取り組んでいくのか。

答 新年度は、地域の実情を踏まえてモデル地区を選定し、2事業の連携を密にして一体的な運営を推進していきたい。

予算審議

■雪寒地域道路整備事業

1億990万円

(中西議員)

問 今後の越前市の消雪施設整備事業は、越前市無雪化計画に基づいてどのような方針でいるのか。

答 幹線道路は路線の評価を行い、評価点が高く費用対効果の高い路線を優先的に、生活道路についても路線評価を行い、消雪設備の必要性が高い路線を選び計画的に整備を図っていく予定である。

■武生中央公園体育館管理運営事業 1325万円

(金子議員)

問 専決処分の落雪による損害賠償は、市が負担すべきものではなく指定管理者が責任を負うべきではないか。

答 指定管理者は適正な管理を行うっており、落雪事故は建物の屋根の構造上の問題と判断し市が賠償することを決めた。

一般議案審議

■大虫児童館の指定管理者の指定について

(玉川・嵐議員)

問 今、児童館で働く職員の給与が安い。大事な子供を預けているのだから、もっと待遇の改善をしても良いのではないか。

答 児童館で働いている職員の待遇については社会福祉協議会が決められているが、今後の処遇改善については社会福祉協議会とも協議して検討していきたい。

■財産の取得・財産の無償貸付について

(玉村議員)

問 福鉄の用地を取得し無償で貸し付けることで福武線の再建を支援するが、市内の交通事業者と連携して利便性を高められないか。

答 利便性を高めるため、市民バスや乗り合いタクシーなど総合的に勘案して、より良いシステムを考えていく。



4月にオープンした大虫児童館

条例審議

■越前市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について

(関・三田村・中西議員)

問 この基金を設けることで、介護の仕事に従事する方の処遇がどのように改善されるのか。

答 介護従事者の賃金が改善され、比較的負担の大きい深夜業務等に的確な人員の配置がされると考える。

■越前市介護保険条例の一部改正について

(三田村・玉村議員)

問 平成20年で終了する激変緩和措置を継続して保険料を据え置くことで、保険料が上がる人や下がる人は出ないのか。

答 保険料の率を7段階から9段階に細分化したことで、下がる人の方が多くなると考えている。

■越前市景観条例の制定について

(三田村・中西・佐々木・玉村・片粕議員)

問 美しい田園風景を守り、景観と調和のとれた良好な営農条件を確保するために、景観農業振興地域整備計画を創設してはどうか。

答 農村の景観保存については食と農の創造ビジョン基本構想でも定めており、景観農業振興地域整備計画については今後研究していく。

■越前市食と農の創造条例の制定について

(中西・嵐・大久保・玉川議員)

問 市の条例の中に、財政上の措置や予算措置という文言がないが、市の責務として必要ではないか。

答 農業振興に対する予算措置については、これまで毎年2億円弱の予算が確保されており、条例の中には財政上の措置を規定していない。

■越前市営住宅条例の一部改正について

(前田修議員)

問 市営住宅に暴力団員の入居を認めないとのことだが、暴力団員の把握方法は。

答 入居の際に警察に照会し確認できるよう、越前警察と協定を結ぶ予定である。



市営住宅(上太田町)

一般質問

質問・答弁の要旨は次のとおりで、1議員につき2項目のみを掲載しています。

政新会 福田 往世

固定資産税の改定について

Q 今年度、評価制度が変わり、旧今立地区では税額が増える地区があると聞か、その実情は。

A 地価の下落傾向を反映して全体的には価格は下がるが、一部では上昇する土地もある。税額が増える対象者には、総合支所にて戸別の説明会を開催したい。

南越駅周辺整備構想について

Q 平成15年に作成された北陸新幹線南越駅周辺整備構想は、現在どのような状態になっているのか。

A 国の新年度予算に南越駅部の設計費が盛り込まれたことから、今後の新幹線整備スケジュール等を踏まえて、周辺整備構想を具体化して行く必要があると考えている。



東京長野間で運行されているE2系車両



本庁1階の総合案内窓口

日本共産党議員団 前田 修治

緊急相談窓口について

Q 市役所玄関に、失業者の皆さんの生活・住居の支援や中小企業経営支援など、色々な分野を対象とした総合相談窓口を設けてはどうか。

A 本庁1階にフロアマネージャーを配置し担当課に案内するほか、市民課窓口でも身体の不自由な方へのサポート体制も整えている。

乳児医療無料化について

Q 越前市では小学校就学前まですべての子どもの医療費が無料となっているが、今後、対象年齢を引き上げる考えはないか。

A 平成18年6月から乳幼児医療費助成制度の対象者をすべて就学前児童に拡充したところであり、現在のところは、現行のまましていきたい。

新世紀・市民派ネットワーク

三田村 輝士

小規模多機能型施設について

Q 高齢者や子ども、障害のある方などを受け入れ、生活支援のサービスを提供するフレキシブル支援センターに取り組む考えはないか。

A 現在、市内でも同支援センターと類似した事業に取り組んでいる方もいるので、その状況も把握した上で、今後の研究課題としたい。

国際交流基金について

Q 国際交流基金の一部を取り崩して、外国人学生の奨学金の特別枠を設けたり、派遣切りで失業した方の生活支援に充てる考えはないか。

A 基金の果実運用については、今後の経済、雇用状況や生活実態調査を見極めて慎重に検討する必要があると考えている。

公明党議員団 吉田 慶一

デマンド交通について

Q 電話予約によりバスや乗り合いタクシーを利用できるデマンド交通は、高齢化社会に対して非常に有効な交通手段である。市でも導入する考えはないか。

A 現在、市民バス運行システムの見直しを行っており、その中で地域の実情に応じた課題を検討していきたい。

合併浄化槽の再利用について

Q 東部下水道が完成するとかなりの合併浄化槽が不要になるが、不要となった浄化槽を雨水の貯留槽として再利用してはどうか。

A 下水道が供用開始される地区で地元説明会を開催する折に、合併浄化槽を雨水利用施設として再利用することの有効性を説明していきたい。

一般質問

諸派 中西眞二

―自殺者対策について―

Q 越前市において、保護すべき人を法律に沿って適切に保護しなかったために、結果的に自殺されたというような事例はなかったのか。

A 現在地保護対象者の方への対応については、十分に親身になって相談に応じており、今後適切に対応していきたいと思っ

―生活保護について―

Q この不況の中で生活に困っている方に対して、越前市ではどのような生活保護・生活支援サポート体制をとっているのか。

A 生活支援など各種生活苦の相談に対しては、関係各課と連携をとりながら、相談者の立場に立って適切な対応に努めていきたい。

政新会 川崎悟司

―弁当の回収について―

Q 子どもに生きる力の大切さを教えるために、子ども自身が調理から片付けまでを行い、自分の弁当を作る弁当の日に取り組んでどうか。

A 自ら弁当を作ることは意義のあることだが、休日の親子の活動として、自主性や食に対する意識を高めてもらうことを期待している。

―地域学校協議会について―

Q 福井型コミュニティスクールとして平成18年度にスタートした地域学校協議会は、3年が経過して形骸化が懸念される。

A この協議会は、学校と地域の交流の場として、そこで情報が教育活動にも生かされてお

自由クラブ 題佛臣一

―生活相談窓口について―

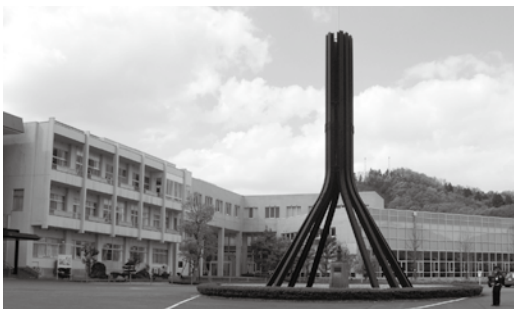
Q 景気悪化により雇い止めされた外国人派遣労働者からの悩み相談窓口について、どのような対応をしているのか。

A ハローワークでの就職支援や県南越合同庁舎での離職者生活相談のほか、市では通訳の紹介や国際交流員の派遣を行って

―市税の滞納状況について―

Q 景気悪化の影響で、解雇された方々の市税滞納状況は、現在どのようなになっているのか。

A 現段階では解雇による影響は表れていないが、雇用保険の受給期間が終了する4月以降



仁愛大学



ハローワーク

新世紀・市民派ネットワーク

大久保恵子

―環境補助金について―

Q 国の制度で中山間地域の多面的機能維持のための補助制度があるが、この補助基準に入らない地域でも、市独自の支援ができないか。

A 国の農地・水・環境保全対策に当てはまらない残りの面積が広いため、財源等を考えながら今後の国の動きを見て研究していきたい。

―協定書見直しについて―

Q 昨年の3月議会

A 協定書の補助率の明確な条文を削除して、補助が必要となつた場合には相互理解の上、予算の範囲内で補助することとし、3月中の締結を指して協議中である。

一般質問

新世紀・市民派ネットワーク

上山直行

金融機関との連携について

Q 地元産業の活性化のためには、金融機関と地元の産業が密接な関係を築く必要があるが、市と銀行の連携や話し合いはどうか。

A 金融機関を訪問する中で市事業への協力依頼をしている。新年度は市の融資制度を増額し、金融面での支援も促進されると考えている。

Q 不況で仕事量が減るなか、競争性・公平性・透明性を担保しながら、地元の小規模事業者等に対する受注機会を拡大を図ってほしい。

A 地元発注、地元業者の育成を念頭に、公平性・透明性を確保し、種々の入札・発注方式をとりながら、受注機会を拡大に努めていきたい。

政新会 小形善信

芸術文化事業について

Q 文化施設の友の会制度を設けて、丹南広域圏の中で他の自治体と共同で運用する方法を検討できないか。

A 現在、越前市の広報に鯖江市のイベント情報を掲載して情報交換を心がけている。友の会は22年度の発足を予定しているが、共同運営は今後の検討課題としたい。

Q 里地里山保全再生モデル地域に指定された市西部地区は本市の大きな観光資源であるが、今後どのように振興させていくのか。

A 市西部地区は絶滅危惧種や県内でも有数の希少野生生物の宝庫であり、これらの地域の特性を生かした取り組みを実施していく。

観光振興プランについて

入札制度について



雇用促進住宅(サン・コーポラス今立)



文化センター

自主防災組織について

Q 自主防災組織の研修会には女性が少ない。防災には女性の視点が必要であり、女性の参画を促進すべきでないか。

A 女性には備蓄食糧の管理や災害時の避難者に対する応急対応を担ってもらっている。今後も各種研修会や自主防災組織への積極的な参加を推進していきたい。

Q 廃止される予定の雇用促進住宅に住む子ども達から、住宅を壊さないでという手紙を預かったが、この声を国へ届ける方法はないか。

A 存続を希望する住民の皆さんの声は、事あるごとに国会議員にも要請している。今後も引き続き地域住民の声を国に届けていきたい。

諸派 細川かをり

類似公共施設について

Q 合併に伴い、類似する公共施設が増加し、維持管理費が増加することに対する市の対策は。

A 行財政改革を進める上で、市全体での位置づけや最適な配置に考慮しながら、施設の有効活用と施設全体の維持管理費の軽減を図っていくことが大切だと考えている。

Q 住民主体のまちづくりの推進に対して、地域間での温度差があるのではないか。

A 合併当時は自治振興に関して違いもあったが、現在は課題も解決されスムーズに実施されている。区長会連合会と自治振興連合会の統合により、さらに融和が進むと考えている。

自治振興事業について

雇用促進住宅について

一般質問

日本共産党議員団 玉村正夫

雇用対策について

Q 市内企業と市が、お互いに現状を把握して雇用を守る対策を立てるために、雇用に関する事前協議制の創設を提案する。

A 雇用については、企業自らが、企業経営の中で責任を持って判断するもので、市としてはふさわしくないと考えている。

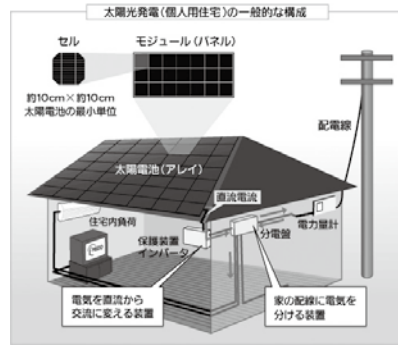
「たけふ菊人形」について

Q 菊人形は、集客力の低下、施設の老朽化、菊づくり愛好家の高齢化が問題になっているが、具体的な対応策は。

A 今年度は、商店街や周辺観光地と連携した取組等を行って入場者が増加したが、施設の老朽化、愛好家の高齢化は大きな課題で、実行委員会とも協議していきたい。



昨年のたけふ菊人形



太陽光発電のイメージ図

公明党議員団 関利英子

企業の誘致について

Q 次の成長分野は環境産業であるといわれており、地域経済の活性化や雇用の創出も期待できるため、越前市にも太陽光発電関連の企業を誘致してはどうか。

A 今、経済情勢が大変厳しい状況であるが、企業の誘致については、これからも休むことなく続けていきたい。

地上デジタル放送について

Q 国では地上デジタル放送用テレビやチューナーの低価格化に取り組むらしいが、市独自の移行費用に対する支援策はないか。

A 国の方では新たな対策が考えられているようであるが、市として移行費用に対する独自の負担は今のところ考えていない。

大志 片粕正二郎

吉野瀬川放流事業について

Q ゲリラ豪雨等を想定すると、地元の流域住民は、一日も早い工事の完成を望んでいるが、現在の進捗状況は。

A 昨年11月には、日野川との合流点付近の遮水壁工と廃棄物の前処理施設建設工事が発注されたことから、今後は本区間の整備が着実に進められると考えている。

地元説明会について

Q 廃棄物の受け入れ先である坂口地区の住民の同意が得られていない。地元説明会がなぜ出来ないのか。

A 今回設置した環境委員会で対応することで準備に時間を要した。今後は、地元の方の更なる理解が得られるよう、県と共に説明会の開催をお願いしていきたい。

議員研修会を開催

去る4月20日、議会活性化と議会基本条例制定にむけた研修会を開催しました。

当日は、伊賀市議会議員の安本美栄子氏をお招きして「議会基本条例と議会活性化について」と題した講演をお聞きしました。



請願審議

3月定例会では、継続審査となっていた次の請願を議会運営委員会で審査し、最終日の本会議で採決の結果、委員会審査の結果のとおり不採択となりました。

・ミニナム・アクセス米の輸入停止を求める請願



人事

▼人権擁護委員の候補者の推薦に同意

- 坂岡 嘉代子（大虫町）
- 池田 弘美（吾妻町）

議員の派遣について

4月中旬から各常任委員会の行政視察を行いました。視察先と主なテーマは次のとおりです。

■総務委員会

（5月11日～13日）

- 千葉県市川市
危機管理対策
- 神奈川県小田原市
行政改革の取組み
- 愛知県高浜市
行政改革の取組み
- 愛知県刈谷市
市民協働推進事業

■産業経済委員会

（4月13日～15日）

- 兵庫県淡路市
農業ベンチャー支援制度
- 香川県高松市
高松丸亀町商店街活性化の取組み
- 愛媛県四国中央市
地場産業

■教育厚生委員会

（4月22日～24日）

- 岐阜県可児市
外国人児童生徒の学習保障事業
- 大阪府高槻市
特別支援教育の取組み
- 大阪府箕面市
教育委員会と福祉の連携
- 滋賀県湖南市
発達支援システム

■建設委員会

（4月21日～23日）

- 大分県別府市
まちづくり交付金事業
- 山口県萩市
景観まちづくり
- 山口県山口市
新山口駅ターミナルパーク整備基本計画

特別委員会視察日程

■公共交通対策特別委員会

（5月19日～20日）

- 滋賀県東近江市
- 和歌山県和歌山市

■新庁舎建設対策特別委員会

（5月20日～21日）

- 新潟県燕市
- 神奈川県横浜市

6月定例会日程

▼6月12日（金）

本会議（提案理由説明）

▼6月17日（水）～19日（金）

本会議（質疑、委員会付託、一般質問）

▼6月22日（月）～24日（水）

各常任委員会、特別委員会

▼6月26日（金）

本会議（委員会審査結果報告、質疑、討論、採決）

※議事の都合により日程が変更になる場合があります。

議会史（旧武生市）を販売しています

完結編を発刊しました。

▼第一巻：明治維新～昭和30年

昭和30年

7000円

▼第二巻：昭和31年～49年

9000円

▼第三巻：昭和50年～平成8年

平成8年

10000円

▼資料編：議会だより縮刷版

6500円

▼完結編：平成9年～

平成17年

6000円

※5巻全巻を購入の場合、35500円で30000円のお得になります。

申込先
議会事務局TEL (22) 3426



議会史 全5巻

平成 21 年 3 月定例会の審議議案

◎満場一致 ×否決

【予 算】

- ◎平成 21 年度越前市一般会計予算
- ◎平成 21 年度越前市簡易水道事業特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市下水道特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市国民健康保険特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市霊園事業特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市老人保健特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市駐車場特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市農業集落排水事業特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市林業集落排水事業特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市介護保険特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市今立工業団地事業特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市ガス事業清算特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市後期高齢者医療特別会計予算
- ◎平成 21 年度越前市水道事業会計予算
- ◎平成 21 年度越前市工業用水道事業会計予算
- ◎平成 20 年度越前市一般会計補正予算(第 4 号)
- ◎平成 20 年度越前市一般会計補正予算(第 5 号)
- ◎平成 20 年度越前市下水道特別会計補正予算(第 2 号)
- ◎平成 20 年度越前市国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)
- ◎平成 20 年度越前市農業集落排水事業特別会計補正予算(第 3 号)
- ◎平成 20 年度越前市介護保険特別会計補正予算(第 3 号)
- ◎平成 20 年度越前市今立工業団地事業特別会計補正予算(第 1 号)
- ◎平成 20 年度越前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 1 号)
- ◎平成 20 年度越前市水道事業会計補正予算(第 2 号)

【条例案】

- ◎越前市行政手続等における情報通信の技術の利用に関する条例の一部改正について
- ◎越前市職員の給与に関する条例の一部改正について
- ◎越前市部設置条例の一部改正について
- ◎越前市情報公開条例の一部改正について
- ◎越前市個人情報保護条例の一部改正について
- ◎越前市国民健康保険条例の一部改正について
- ◎越前市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例の制定について
- ◎越前市介護保険条例の一部改正について
- ◎越前市ひとり親家庭福祉推進資金貸付基金条例の一部改正について
- ◎越前市食と農の創造条例の制定について
- ◎越前市景観条例の制定について
- ◎越前市営住宅条例の一部改正について

【一般議案】

- ◎財産の取得について
- ◎財産の無償貸付けについて
- ◎大虫児童館の指定管理者の指定について
- ◎越前市月尾山村広場の指定管理者の指定について
- ◎土地改良事業の施行について
- ◎市道路線の認定及び変更について

【人事案】

- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて
- ◎人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

【請 願】

- ×ミニマム・アクセス米の輸入停止を求める請願

委員会審査

市長から提出された議案を審査するため、各委員会が開催されました。掲載記事は委員長報告の
主な内容です

総務委員会

■定額給付金事業について

委員からは、定額給付金の申請について、お年寄りや体の不自由な方々をはじめ、受付窓口に来られない方、連絡の取れない方々への対応についてただされました。

理事者からは、現在、社会福祉課と長寿福祉課が連携し、民生委員やケアマネージャーの方々の協力も得ながら、そのような市民の把握や、申請の際の書類の記入補助もお願いしている。また、申請がなされていない世帯に対しては、再度、通知をするともに、区長さんと連絡を取り合い、そういった世帯の実態を調査していくことも予定している、との答弁がなされました。

重ねて、委員からは、すべての市民にこの給付金が交付できるように、万全の体制をとられたいとの強い意見、要望がなされました。

教育厚生委員会

■子育て応援特別手当支給事業について

委員からは、この特別手当の支給に該当する児童がいる家庭への周知方法についてただされました。

理事者からは、今回の事業の対象者へ申請書や事業主旨を漏れなく伝えるため、基本的に、越前市の住民登録者の電算処理により判断をするのが、対象となる3歳から5歳の子どものいる世帯については、制度の趣旨及び対象要件の記入してあるチラシを定額給付金の簡易書留に同封し、全戸配布する。

なお、申請の期間、申請、支給等の処理については、定額給付金と同様に事務処理を進めていきたいと考えている。

また、特別な事情のある家庭についても、受給者の不利益にならないよう対応していきたいとの答弁がなされました。

産業経済委員会

■買物券発行事業について

委員からは、買物券の発行に関しては1日も早い発行が要望されました。

理事者からは、議決を受ければ早速印刷発注に努め、1日でも早い発行に努力したいとの答弁がなされました。

さらに、委員からは、大型店と小規模店で換金率の差をつけることにより、大型店が手を引くことはないかただされました。

理事者からは、この事業は、地元商店への支援・発展も目的であり、地元商店になるべく負担がかからぬよう配慮したとの答弁がなされました。

なお、委員会では、当該予算が地域経済と地元商店の活性化に効果的に活かされるよう、売れ残り防止、市民及び事業者の公平性の確保など、万全策を取ることを求める附帯決議がなされました。

建設委員会

■歴史と匠の通り整備事業等について

委員からは、武生中心市街地と五箇地区における道路景觀舗装の概要と修景助成に対する補助金の内容についてただされました。

理事者からは、道路舗装は地元と協議し茶色系の舗装で景観や家並みと調和のとれたものを考えている。修景助成は、まちづくり協定が締結された区域で、先導的に住宅や蔵等の建物及び門や塀等を一定の基準に沿って整備を行う場合、補助を考慮していると答弁がなされました。

さらに、委員からは、修景助成の基準については、地域の協議会と良く協議し、助成制度についても一律的な限度額ではなく、まちなみに寄与する面積なども考慮して制度を考えてほしいとの要望がなされました。



本会議の様子は、丹南CATVコミュニティチャンネルでご覧になれます。一般質問時には、質問項目一覧を放映するなど、分かりやすい放送に努めています。

市議会を 傍聴しましょう

本会議は、住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は本庁舎別館6階です。来庁は、なるべく公共交通機関を利用するか乗り合わせでお越しください。

■問い合わせ先

市議会事務局
TEL (22) 3426